

当初予算の概要

令和7年度の対馬市一般会計の歳入・歳出予算は、342億700万円で、前年度予算と比較すると、2億5,006万1千円、0.7%の増となっています。特別会計、企業会計を合わせると、令和7年度の対馬市の予算総額は、454億6,698万円で、前年度予算と比較すると、1億3,885万2千円、0.3%の増となっています。

(単位：千円)

区分	令和7年度	令和6年度	比較	増減率(%)
一般会計	34,207,000	33,956,939	250,061	0.7
特別会計	9,306,372	9,485,835	△179,463	△1.9
診療所特別会計	470,592	465,073	5,519	1.2
国民健康保険特別会計	4,191,918	4,419,738	△227,820	△5.2
後期高齢者医療特別会計	522,441	514,221	8,220	1.6
介護保険特別会計	4,050,308	4,038,931	11,377	0.3
旅客定期航路事業特別会計	71,113	47,872	23,241	48.5
企業会計	1,953,608	1,885,354	68,254	3.6
水道事業会計	1,905,653	1,845,378	60,275	3.3
漁業集落排水事業会計	47,955	39,976	7,979	20.0
合計	45,466,980	45,328,128	138,852	0.3

※令和6年度の一般会計当初予算は、編成時期が市長改選の時期であったため、骨格予算として編成されましたので、6月議会で肉付された後の額を計上しており、物価高騰対策予算2億599万7千円を含んでいます。

※特別会計及び企業会計の予算については、当初予算の額を計上しています。

※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額です。

一般会計

対馬市の一般的な予算です。

税金と国や県からの交付金や支出金が主な歳入で、

対馬市の事業全般に使います。

特別会計

ある特定の収入を特定の目的に対してのみ使用し、
他と区分して経理する予算です。

対馬市には、国民健康保険特別会計や介護保険
特別会計など5つの特別会計があります。

企業会計

特定の事業について、その事業に関わる料金収入などを事業に充て、民間企業と同様に独立採算を行っている予算です。対馬市には、水道事業会計と漁業集落排水事業会計があります。